

## 有識者意見の概要及び意見に対する対応

1. 調査研究課題名「運輸企業の企業風土と安全パフォーマンスの関係性に関する調査研究」	
2. 有識者意見の概要及び対応 有識者：中條 武志氏 中央大学理工学部経営システム工学科教授 小松原 明哲氏 早稲田大学理工学術院教授	
意見の概要	意見に対する対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の特性は変数化することが必要である。厳密に分けることは難しいかも知れないが「都市部」か「郊外」かくらいは分類して分析を行った方が良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「都市」「郊外」について厳密に分けることが困難であることに留意しつつ、各社の事業内容及び主として事業を行っている地域の人口密度を参考に分類し、分析を進めた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>「タクシー」「バス」「トラック」についても、そもそも平均的な事故率など、特性が異なるため、例えば変数を入れるなどの方法を検討すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「タクシー」「バス」「トラック」それぞれの分析を行った上で、業種別の平均事故率（統計データ）を基に係数を設定、業種による事故率の違いを調整し、自動車モードとしての分析も行った。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>分析方法としては、回帰分析などを使って検証していくやり方と、事故率の「大」「中」「小」で分けてグルーピングし、特徴の違いを見ていくという方法もあるので、検討してみると良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>可能な限り複雑な分析は避けつつ、相関分析や因子分析、回帰分析等の分析手法を活用し、分析を進めた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>今回実施を検討されている関係性の分析結果が、例えば「教育訓練」と非常に関係性が強いと判断される結果であった場合、教育訓練だけ行っていれば（安全知識面だけ補っていれば）安全が確保できるといった解釈をされてしまう可能性に留意すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育訓練と事故率に関係があるという結果だけでなく、運輸安全マネジメントで重視されているトップの取組みが例えば教育訓練の充実につながっているのかという観点からも分析を行った。</li> </ul>

## 有識者意見の概要及び意見に対する対応

<ul style="list-style-type: none"><li>• 会社の経営が熱心だと PDCA が回り、現場の教育管理が出来ているという仮説は成り立つか見ていけると良い。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 上記に加え、経営トップの具体的にどのような取組みが、例えば教育訓練の充実や現場管理の充実につながっているのかという観点からも分析を行った。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>• 事故率とアンケート結果の相関係数を単純に負の相関の大きいものから順に並べて見るだけでも傾向は見えるのではないか。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• アンケート結果と事故率の相関について、領域別、項目別に相関係数を算出し、分析を行った。</li></ul>